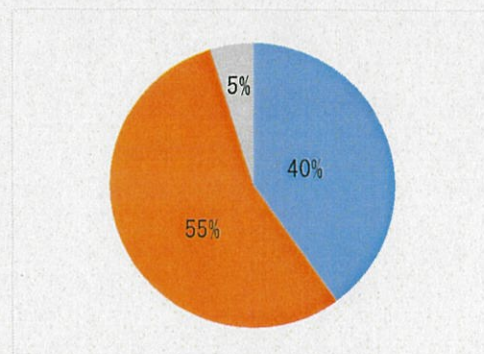


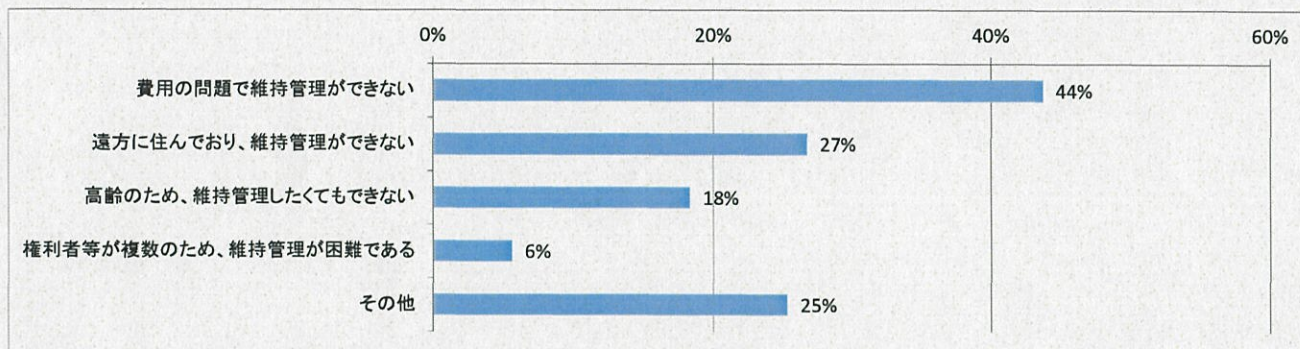
岸和田市空家対策に係るアンケート調査（クロス分析）

■ 維持管理が行えていない理由ごとの回答内訳（複数回答）

選択肢		件数	割合
1	行っていない	74	40%
2	行っている	102	55%
	無回答	9	5%
回答者合計		185	100%



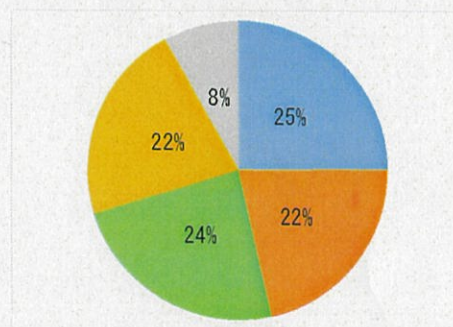
● 維持管理が行えない理由



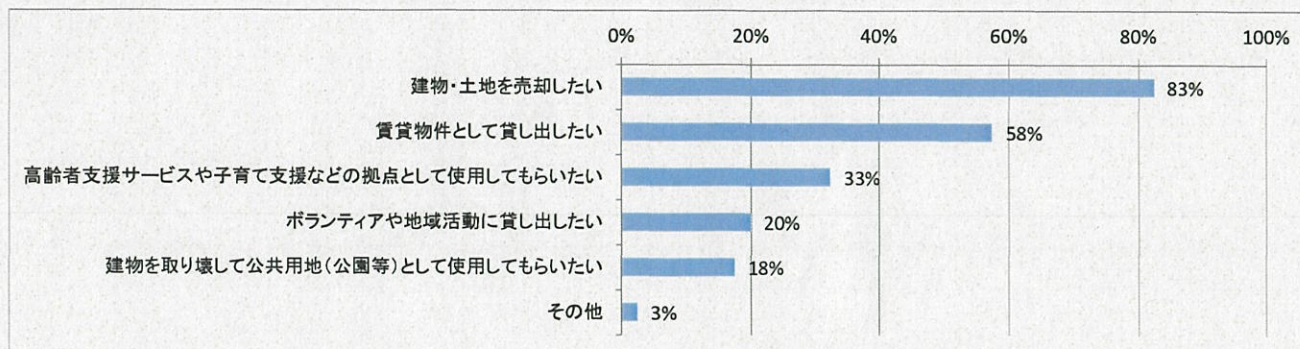
- ・ 費用の問題（44%）を理由とする回答割合が最も高くなっている。
- ・ 次いで、遠方に居住するため（27%）、高齢のため（18%）となっており、適正な管理状況を確保可能となるような支援サービスの導入等を検討することも考えられる。

■ 空き家となっている建物の利活用意向ごとの回答内訳（複数回答）

選択肢		件数	割合
1	自分では利用しないので、他の方による有効な利活用を希望する	46	25%
2	条件次第で利活用を考えたい	40	22%
3	他の方による利活用を希望しない	44	24%
4	わからない	40	22%
	無回答	15	8%
回答者合計		185	100%

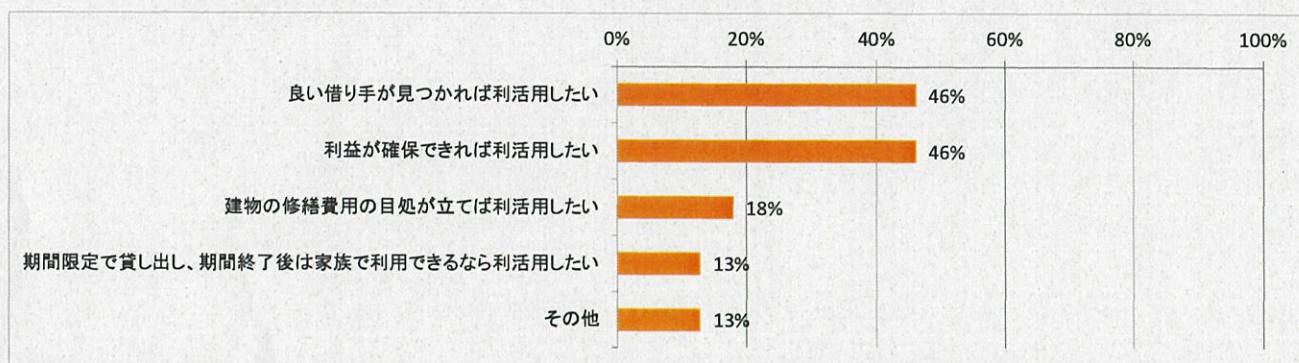


● 「自分では利用しないので、他の方による有効な利活用を希望する」との回答者の、利活用の方向性



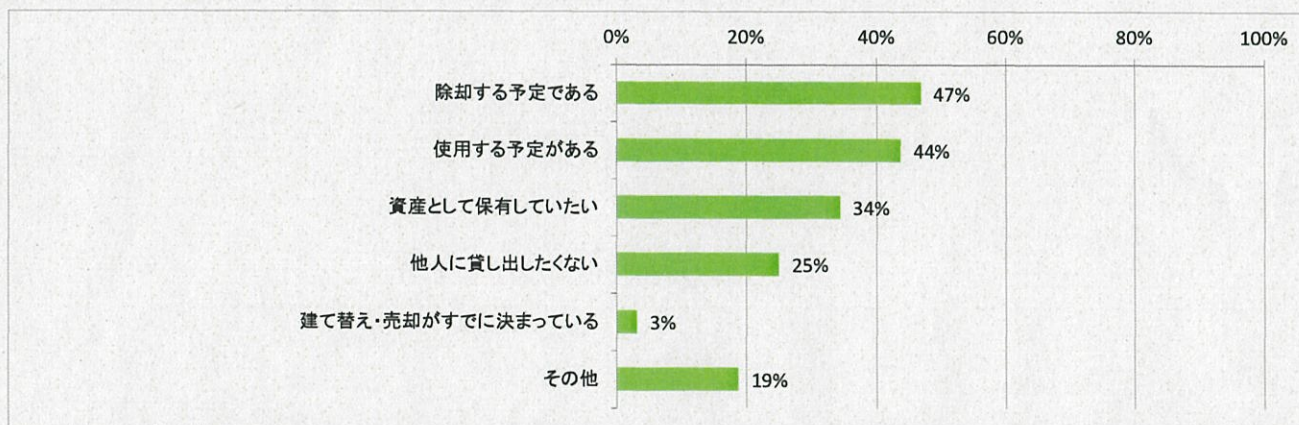
- ・ 売却（83%）や貸出し（58%）を希望する回答割合が高くなっているものの、問 13 によると、空き家所有者の大半（83%）は入居者の募集を行っていないことから、空き家の流通を促す仕組みの導入についての検討が必要と考えられる。
- ・ 福祉目的、ボランティア、地域による活用等を希望する回答割合は、2~3割程度と一定数は確保の見込みが立てられることから、活用を目指す場合は、建物の状況、所有者の意向、地域ニーズ等についての詳細な調査が求められる。

● 「条件次第で利活用を考えたい」との回答者の、利活用を行うにあたっての条件



- ・ 良い借り手が見つければ（46%）、利益が確保できれば（46%）との回答割合が最も高くなっている。
- ・ 利益が確保できれば（46%）、修繕費用の目途が立てば（18%）との経済的な理由を条件とする回答があることから、利活用可能な空き家の件数を一定数確保するためには、賃料の助成、修繕費用の助成など、懸念される条件を解消する制度の検討が必要となる。

● 「他の方による利活用を希望しない」との回答者の、利活用を希望しない理由



- ・ 除却する予定（47%）との回答割合が最も高くなっている。
- ・ 資産として保有したい（34%）、他人に貸し出したくない（25%）との回答者については、空き家として所有することのデメリットについての啓発活動を行うことが求められる。